

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	農友地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県西予市	380008	1	H23～H26	H23～H25
活性化計画の区域				
農友地区活性化計画は旧野村町農友地区の全域2,043haを計画区域とし、農林地面積は1,912haで94%を占め、第1次産業が主産業となっている。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用 用排水施設等の機能の確保	38.3ha	38.3ha	100%	

(コメント)

事業が予定どおり完成し、農業生産基盤の向上が図られ、目標が達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農業用 用排水施設	農業用用排水路 L = 1, 252m		西予市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
西予市	平成23年度	平成25年度	平成25年7月9日
事業の効果			
農業用用排水路を整備する事により、農業用水の供給機能が確保され、農業生産基盤機能が回復し、維持管理に費やしていた営農労力を品質向上への労力に転換する事により農家経営の安定を図る事ができた。			

3 総合評価

(コメント)

農業用用排水路を整備する事により、農業用水の供給機能が確保され、農業生産基盤機能が回復し、維持管理に費やしていた営農労力を品質向上への労力に転換する事により農家経営の安定を図る事ができた。
その結果、農家の効率的、継続的な営農活動が可能となり、農作業の共同化を促進し、地区内世帯数の減少率の低減(H23～H26世帯減少数5世帯)へと繋がり、農業従事者の安住化を図られたと言える。

4 第三者の意見

(コメント)

営農に欠かせない幹線水路が整備されたことにより、維持管理に係る負担が大きく改善され、機械の共同利用・農業生産法人の立ち上げ等、将来を見据えた営農活動の前向きな話し合いができるようになった。

また、老朽化が進行してる支線の更新等についても地域内で検討している。